

花き栽培農家を支援するため 海老名産の花きで「ありがとう」

新型コロナウイルス感染症により影響を受けている市内の花き生産者を支援するとともに、感染症対策に日々尽力している医療従事者などへ感謝の意を表すため、海老名市職員親睦会（江成立夫会長、市職員約870名）は、胡蝶蘭およびカトレアを購入し、市内医療機関などへ寄贈する。

現在、市内で生産されている花きは、需要が低下し価格が大幅に下落している。その中で特に高級鉢物が大きな影響を受けていることから、胡蝶蘭130鉢とカトレア15鉢を寄贈することになった。

寄贈件数は115件で、医療機関のほか、介護関連施設や多額寄附者に対して行う。

【寄贈先及び寄贈数】

寄贈先	箇所数	胡蝶蘭	カトレア
市内医療機関	79	94	15
市内介護関連施設	21	21	—
多額寄附者（新型コロナウイルス関連）	15	15	—
合計	115	130	15

※規模等に応じて複数鉢を寄贈する医療機関あり



▲左から海老名市職員親睦会 会長 江成立夫（エリタツオ）氏、海老名総合病院 病院長 服部智任（ハトリトモカ）氏



▲左から海老名市職員親睦会 会長 江成立夫（エリタツオ）氏、海老名市医師会 会長・腎健クリニック 理事長 高橋裕一郎（タカハシ ユウイチロウ）氏

◎この件に関する問い合わせ

海老名市経済環境部農政課 電話046・235・8539

海老名市職員親睦会 電話046・235・4503